

届け！未来レター

未来レターは、19歳になった自分へ贈る手紙です。

18歳になると選挙権が与えられますが、進学や就職で親元を離れたり、身近な人からの投票の呼びかけの機会が少ない19歳は投票率がぐっと下がります。今のあなたから、19歳の自分に向けて、政治や選挙についての想いを贈ろう。

▼ 手紙を提出する際は、ミシン目に沿って切り離してください。

19歳^{きみ}の自分へ

▶ 2025年はどんな年？

(例：高校新生活、
大阪・関西万博、
第27回参議院議員通常選挙)

▶ 19歳で選挙に行く
自分へのメッセージ

学校名：

学
年

年

月

日の自分より



みんなが暮らしやすい未来を実現しよう

選挙権は選挙に参加できる資格のこと。平等に1人1票与えられています。若者の投票率が高ければ、若者の意見を代弁する人が当選し、若者の意見が政治に反映されることとなります。これから更に進むであろう「超高齢社会」では、若い世代の1票、1票がとても重要になるのです。

新潟県選挙管理委員会・新潟県明るい選挙推進協議会

〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1 TEL.025-280-5057

[ホームページ] <https://www.pref.niigata.lg.jp/senkyo/>

新潟県選管



[Facebook]

<https://www.facebook.com/niigata.senkan>



[X]

https://twitter.com/Niigata_Senkyo



↓下部記入欄に、宛先・宛名をご記入ください。

新潟県選挙管理委員会・新潟県明るい選挙推進協議会
(R7作成)

郵便番号

--	--	--	--	--	--	--	--

住所

市 町
村

宛名(自分の氏名)

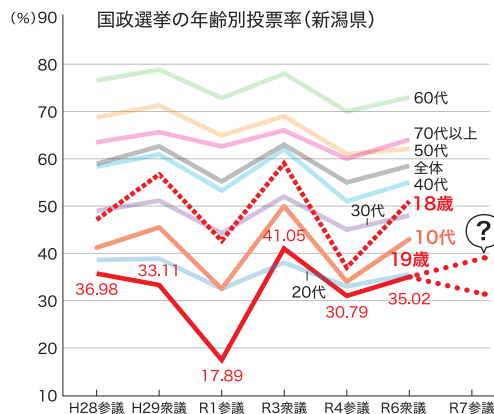
※住所は番地やアパート・マンション名など正確にご記入ください



選挙権を持つ前の自分から、選挙権を得た今のあなたへの手紙です。
当時の政治や選挙への想いを振り返りつつ、投票に参加しましょう!

若い人たちが投票に行かないとどうなるの？

10・20歳代の若者の投票率は3～4割程度と低く、選挙によってはそれをも下回る状況です。選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、若者の政治や社会への参加が広がりました。しかし、もともと若い世代の有権者が少ないうえに、投票者数も少ないとどうなってしまうのでしょうか？若い世代の声が政治に届かなくなってしまうかも！



19歳の投票率低下!

	R3衆議	R4参議	R6衆議	R7参議
18歳	58.52%	36.95%	50.91%	
19歳	41.05%	30.79%	35.02%	
▲	17.47	6.16	15.89	

19歳は進学や就職で親元を離れたり、身近な人からの投票の呼びかけの機会が少ないため、投票率が18歳に比べてかなり低い状況にあります。
あなたの行動が未来を変えます!!

※各市区町村から標準的な投票率を示している一投票区を抽出してまとめたものです。
ただし、H28参院選とH29衆院選の18歳と19歳の投票率は全数調査による数値です。
※H28参院選は選挙権年齢が18歳以上に引き下げられてから初めての国政選挙です。

『選挙』で自分の想いを伝えるためには

生活と政治のつながりを知る

私たちの日々の生活と政治は、深く関わっています。例えば、若者の雇用や労働環境の問題。これらの政策や制度も選挙で選ばれた政党や政治家によって決められるものです。

政党・政治家の考えを調べる

近年は、新聞やテレビ以外にもインターネットやSNSを通じて、政党や政治家が発信する情報を知ることができます。まずは身近なもので調べてみましょう。

自分の考えに近い政党・政治家に投票する

調べたり、考えたりして、自分の決めた政党・政治家に投票しましょう。結果に限らず、その後の政治・社会の動きをチェックしてみよう。

